

# 薬用シャンプーの使用方法

## ① 体温より低い水温で地肌までしっかり濡らしましょう



30~35℃くらいのぬるま湯でしっかり濡らしましょう。

湯船があれば地肌までしっかり濡れるので、5分ほど入れるとより効果的です。

温度が高すぎると皮膚に刺激となり更にかゆくなります、注意しましょう。

## ② たっぷり固い泡を作りましょう



ネットやスポンジを使用して、ある程度濃い濃度の泡を作りましょう。

きめ細かい泡は皮膚に密着して汚れをしっかりと落とします。

おぼれないよう、  
目を離さないでね!

## ③ シャンプーを皮膚になじませやさしくマッサージ



皮膚症状が**重い場所**からシャンプーの泡をつけていきましょう。

ゴシゴシ洗いは**NG!!**やさしく洗いましょう。

指や肉球の間は特にゴシゴシはやめましょう。

ベタベタする場所は2度洗い、

溝がある場所は溝の中まで塗りこむようにマッサージしましょう。



## ④ 10分間皮膚に浸透させましょう



薬剤を皮膚につけた状態で保つことが大切です。

じっとできない場合は散歩をしても良いですよ。

## ⑤ シャンプーを洗い流しましょう



水またはぬるま湯で薬剤をしっかり洗いながしましょう。

シャンプーが残っているとかゆみの原因になることがあります。

## ⑥ シャンプー後、皮膚が乾燥するようなら保湿剤を使用しましょう



タオルドライ直前に皮膚になじませましょう。

保湿剤は皮膚のバリアを整えます。

## ⑦ タオルドライをしっかり行いましょう



乾燥はタオルドライを中心にします。

ドライヤーによる乾かしすぎはシャンプー後のかゆみの原因になることがあります。

どうしてもドライヤーを使用する場合は**冷風**で、温風を使用したい場合は体から離して使用しましょう

